

図書館だより

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	⑮	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	26	27
28	㉑	30	㉓			

○印 休館日 月曜日・祝日振替(16日)
月末館内整理日(31日)
年始休館日(1日～5日)

風花や登山客者の女夫づれ

蛇笏

風花は晴天にちらつく雪で、風下の山麓地方に多い。また晴天に一度降った雪が吹きおこされて空中を飛ぶこと、とも言う。
(『最新俳句歳時記』)より

今月の新刊図書案内

*一般図書

日本で一番やさしいパソコンの本
知的速読の技術
あなたの彼とその母親
アネット・アンチャイルド
30代の生き方が人生を決める!!
室町を歩いた女たち
雑兵たちの戦場
リピーターのための裏わざバック
ツァー術
アジアの世紀は本当か
戦後日本の宰相たち

日本能率協会
松田真澄

竜崎史郎

千 草子

藤木久志

川合宣雄

中嶋嶺雄

渡邊昭夫

銃を持たされた農民たち

大洞東平

イヤならやめろ!

堀場雅夫

豊かに老いを生きる

日野原重明

がんばれカミナリ竜 上・下

スティーン・ジェイ・グールド

がんは切ればなおるのか

近藤 誠

ニンニクと健康

スティーン・フルダー

バイクは動くか?

山下勇三

インターネットデモ活用マニュアル

裏インターネット研究会

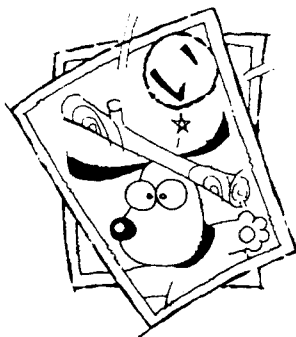
ごく普通の人のための幸せになる

ダイエット

マフィン編集部

ペルソナ 三島由紀夫伝

猪瀬直樹



俳文学大辞典

八代將軍吉宗 下

邪しき者

孟嘗君 4

怖ろしい味

君について行こう

母なる大地父なる空

スー・ハリソン

外二一〇冊

尾形ゆほか

沢木耕太郎

ジエームス三木

羽山信樹

宮城谷昌光

勝見洋一

向井万起男

上・下

外二一〇冊

*児童図書

親子で読める日本の神話

サンタクロースの辞典

小学生・中学生のための

手話テキスト

コップの実験

大空に飛べコウノトリ

鉄道大図鑑

おとなになること

東京ガラパゴス

用寛さん本伝出版の巻

母たちの戦い

しもやけぐま

灰色の小人たちと川の冒険

泣かないで、くまさん

モモちゃんのおくりもの

ごはんまあだ?

どんなにきみがすきだか

あててごらん

ゴーギャンの絵本

外八十六冊

いじめ防止 特別教育相談開設

都留市教育委員会では、陰湿かつ深刻化する「いじめ」防止対策として、教育研修センターに特別教育相談を開設します。

場 所 文化会館内 都留市教育研修センター

時 間 月・木 午前9時～午後4時30分

◎電話による相談にも応じます。

☎(43)1323 FAX(43)1322

◎相談、情報の秘密は、厳守します。

子育てと環境

心の健康シリーズ(33)

「人は環境によって支配される」と言われますが、現代ほど子どもとの問題、つまり「いじめ」「不登校」「非行」など社会的に大きな問題として、各方面で議論し、また、憂慮されていることはないのでしょうか。

死を選ぶほどの「いじめ」や、また、それ程には至らないまでも毎日登校するのが苦痛になる仲間からの「いやがらせ」や「いじめ」、大人からは想像もできない子ども等のこうした行為は、一体どうして起こるのでしょうか。

これには、いろいろの要因はあろうかと思われませんが、その一つには小さい時からの子育てと子どもの環境が大きく関わっているのではないのでしょうか。

今、オール高校時代を迎え、試験地獄がよぎなくされ、親もまたその厳しい試験に耐え得る様、家事手伝いや、社会行事、遊びから切り離し、勉強にあおられて、また、かつての地域社会における教育機能は減退し、親たちは「我が子さえよければ」という意識のもとで子育てが行われている現状から、子どもたちは、社会体験や友達との連帯感の薄れ、人に対する礼儀や思いやりの心は希薄化し、利己的で自分の欲求を満たすため

には、手段を選ばずで、人の苦しみや痛みも考えられない子どもが、今、社会的に問題となっている「いじめ」を引き起こしているのではないのでしょうか。

ある講演会で、「いじめ」を引き起こし、また仲間に入るのには、「小さい頃から痛みの経験やつらい思いをしたことのない子が多い」といったことを聞いたことがありますが、何か子育てに警鐘を鳴らしている様な気がします。

子どもは生まれながらにして悪人はないと思います。

生まれてからの親の考え(子育て)や環境によって右へも左へも育ってしまうのです。

親は子どもにとって最初の教師といわれます。親の言動は子どもの教科書です。教科書や環境という教材教具、それに先生である親の指導が子どもの成長に適切であれば子どもは善悪をわきまえ、思いやりの心を育て、自立心を育成し、真っ直ぐ成長していきます。

子育ては片手間でできません。この様に社会が進歩する中にあるのは、親も子どもと一緒に頑張って勉強し、子どもの心が見える親にならなければなりません。

その中で、何を教えるべきではないか、何をがまんさせなければならぬか、何を与えなければならぬか、よく考えて指導しなければなりません。